

坂井市 洪水・土砂ハザードマップ

(坂井地区)

計画規模降雨と想定最大規模降雨について
2種類のハザードマップを活用して、日ごろから安全な避難方法を検討しておきましょう。

- 1 まずは…
- 「計画規模降雨版」を参考に、避難施設と避難方法を検討しておきましょう。
- 計画規模降雨とは…
- 水防法に定められている、「堤防や護岸などを設計する際の基準となる降雨」の時に想定される浸水深が示されています。
- 2 次に…
- さらに強い雨が降り続くなど最悪の状況に備えるため、「想定最大規模降雨版」を参考に、より安全な避難施設と避難方法を検討しておきましょう。
- 想定最大規模降雨とは…
- 水防法に定められている「想定し得る最大規模の降雨」(およそ1,000年に1度の降雨条件)の時に想定される浸水深が示されています。

※災害時の冷静な判断は大変困難です。日ごろから避難行動を検討しておきましょう
想定最大規模降雨を示す理由
地球温暖化による気候変動の影響は、これまでの常識が通用しない規模の豪雨となって私たちの生活に襲い掛かってきます。このような災害から身を守るため、想定最大規模による浸水深を示しています。想定最大規模の降雨の場合、近くの避難所が使用できなくなったり、自宅の2階の高さを超えて浸水することも想定されます。

災害情報の伝わり方・伝え方

情報の伝達手段

市では防災行政無線をはじめ、広報車などを出して、災害情報を伝えます

避難情報

防災行政無線
防災アプリ・メール
市ホームページ・SNS
広報車
テレビ・ラジオ

住民の皆さん

事前に登録をお願いします

市から伝達される情報の受信方法のうち、以下については、事前の登録が必要となります。

防災行政メール
防災アプリ
音声一斉配信

詳しくは市の公式ホームページをご確認ください
QRコードはこちら

災害時伝言ダイヤル（171）の利用

災害時伝言ダイヤルとは、安否確認を録音・確認することができる「声の伝言板」です。
※災害時のみ利用できるサービスですが、毎月1日や15日など、体験利用できる日があります。

録音するとき

171をダイヤル

流れてくる音声案内に従います

1をダイヤル

自分の電話番号をダイヤル

流れてくる音声案内に従い、録音や再生をしてください

再生するとき

171をダイヤル

2をダイヤル

相手の電話番号をダイヤル

※固定電話などの場合は、市外局番からかけください
※録音時間は30秒以内に限定されています。伝えたい情報を整理してから録音して下さい
※家族内で、日ごろから録音する電話番号を決めておきましょう

避難場所の種類について

避難とは「難」を避けることです
ハザードマップで安全と判断される場所にいる人も、避難経路などを確認しておきましょう

1 避難場所

緊急時において安全を確保するための場所

凡例	名称	役割	施設の例
	指定緊急避難場所	災害ごとに安全性等を考慮して指定する、防災法施行令で定める基準に適合する安全を確保するための場所	小・中学校のグラウンド等
	避難場所	上記のほか、災害時の避難をより適切、有効なものにするため選定した場所	公園・グラウンド等
	一時避難場所	区や自主防災組織が自主的に指定し、災害時等に一時的に避難する場所（地図には記載されておりません。区長等にご確認ください）	集会所等

2 避難所

被災者が生活を送るための施設

凡例	名称	役割	施設の例
	指定避難所	市が規模及び設備等を考慮して指定する、防災法施行令で定める基準に適合する被災者が生活を送るための公共施設	小・中学校等
	自主避難所	避難勧告等の発令までには至らないが、市民の不安を解消するため、市が事前にコミュニティセンターなどに開設する避難所	コミュニティセンター等
	避難所	上記のほか、災害時の避難をより適切、有効なものにするため選定した施設。指定避難所や自主避難所が、避難者でいっぱいになると予想される場合に開設	文化・体育施設等
	福祉避難所	一般の避難所では生活することが困難な障がい者等の要配慮者等に、特別に配慮された施設	保健センター等

避難時の心得について

近所への声掛けと徒歩避難

発災時の車での避難は、渋滞の発生、川への転落、浸水したアンダーパスでの立ち往生など様々な危険性があります。このため、避難の際は徒歩が基本となります。避難の際には動きやすい服装で、また、2人以上での避難を心がけましょう。また、避難時には、隣近所にも声掛けを行うなど助け合いましょう。
安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人がいる場合は、そのお宅に避難しましょう（日ごろから相談しておきましょう）。

運動靴や歩行中に豪雨に見舞われたときは、アンダーパスに注意しましょう

※歩行者や自転車用のアンダーパスもあります。あらかじめ地図面を確認しておきましょう。

避難時の持ち出し品

避難の際には、例えば以下の物資を事前に準備し、携帯しましょう。

消毒液	オールケツ用品（うがい薬等）	携帯電話	非常食
マスク	健康保険証	モバイルバッテリー	飲料水
体温計	ウェットティッシュ	懐中電灯	食器・サララップ
お薬手帳	簡易トイレ	現金（小銭）	育児用品（粉ミルク等）
常備薬・応急医薬品	衣類	預金通帳・印鑑	軍手

避難情報について

災害発生危険がある場合は、下表に示す警戒レベルが出され、レベルによって避難の判断が変わります。

警戒レベル	状況	避難の判断	市からの避難情報	避難行動など	気象庁等からの避難情報（警戒レベル相当情報）
1	今後気象状況悪化のおそれ	危険の前ぶれ	—	災害の前兆や身の危険を感じたら… 自主避難所が開設されます 自らの地域で豪雨や長雨が続き、浸水や土砂災害等の発生が懸念される場合に、市民が自己判断で身の安全を確保するため、事前の避難を希望する方を対象に、自主避難所を開設します。 【洪水災害の前兆】 ・自分の地域で豪雨や長雨が続き、近隣の川の上流で、豪雨や長雨が続き、土砂災害の前兆 ・崖から水がきき出ている ・斜面から水が噴き出す 災害への心構えを高め、異変を感じたら速やかに避難 自主避難	大雨注意情報 洪水注意情報 氾濫注意情報
2	気象状況悪化	自主避難	—	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報
3	災害のおそれあり	自主避難	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 避難に時間を要する人（高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は、避難の準備をしましょう。	大雨特別警戒情報 洪水警戒情報 氾濫警戒情報
4	災害のおそれ高い	必ず避難	避難指示	危険な場所から全員避難 指定避難所が開設されます 速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報
5	災害発生又は切迫	洪水発生	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！ 既に災害が発生又は切迫している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。 ※警戒レベル5は必ず出される情報ではありません 自宅に浸水がはじまったら！ すぐに2階以上へ避難してください！ 避難途中で浸水がひどく近づくまでたら！ すぐ近くにある高い建物などに避難してください！ 逃げ遅れ	大雨特別警戒情報 洪水警戒情報 氾濫警戒情報

※1 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです
※2 避難指示は、現在の避難勧告のタイミングで発令されます

土砂災害の前兆現象に注意！

土砂災害は、大きく分けて「がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）」、「土石流」、「地滑り」の3つに分類されます。いずれも長時間の降雨により、発生の危険性が高くなります。

土砂災害のおそれがある渓流

土砂災害のおそれがある渓流

土砂災害のおそれがある渓流

土石流

大雨で山や谷の土砂が崩れ、水と混じってものすごい勢いで谷底に向かって流れる現象

地滑り

比較的緩い斜面が、広い範囲にわたって滑り落ちる現象

急傾斜地の崩壊

降雨・融雪・地震などがきっかけで、急な斜面が突然崩れ落ちる現象

前兆現象の例

・転石のぶつかり合う音がする
・川の水が異常に濁る
・有機物（腐った土）のにおいがする

前兆現象の例

・地面にひび割れができる
・沢や井戸の水が濁る
・塀壁や電柱が傾く

前兆現象の例

・がけから小石がバラバラと落ちる
・がけから水が噴き出す
・樹木が傾き、揺れる音がする

出典：国土交通省、内閣府（防災担当）

土砂災害警戒区域等の外側でも土砂災害の恐れがあります
※避難する際は、区域の内側や外側関係なく斜面からできるだけ離れた道を通りましょう。

各種ハザードマップの紹介
「ハザードマップ・各種マニュアル」（坂井市）
QRコードはこちら
坂井市では、津波や地震など、災害ごとのハザードマップを作成しています。

「重ねるハザードマップ」（国土交通省）
QRコードはこちら
洪水・土砂災害・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

災害情報の入手先
河川の状況などを直接確認することは危険です。安全な屋内で、インターネットを通じて、災害情報を収集しましょう。

県や町などから出されている防災情報を確認したいとき
福井県防災ネット（福井県）
気象や河川カメラの画像、川の水位などの情報を確認したいとき
川の水位情報（国土交通省）
福井県河川・砂防総合情報（福井県）

「i-meメール」を登録しよう！
（福井県河川・砂防総合情報メール）
ご自身の携帯・スマホに登録することで、河川や土砂災害の危険情報をリアルタイムでお知らせします！
登録や利用方法など、詳しくは「i-meメール」で検索！

ハザードマップの使い方

ハザードマップの地図面で自分の家がどこにあるのか確認します

色が塗られていない

色が塗られている

家のある場所に色が塗られているか確認します

災害の危険があるので、原則として、避難所等への避難が必要です

ただし、右の4つの条件全てに当てはまる方は、自宅での避難も可能です。自宅での避難する際には、以下のことに注意しましょう。
・2階以上に避難しましょう！
・斜面からは「高く」「遠く」離れた場所へ避難しましょう！

ハザードマップを使ってみましょう
ハザードマップに避難所までの避難経路を書き込みましょう。書き込みの際は、土砂災害や河川の横断箇所などの危険な箇所をできるだけ避けましょう。避難経路が決まったら、ハザードマップを持参して実際に現場を歩き、気になった点や危険な場所をハザードマップに書き込みましょう。

防災訓練に参加しましょう
防災訓練に参加してみましょう。例えば、避難所の開設や運営の訓練などに参加することで、住み心地などを確認できます。

避難情報や持ち出し品などをチェックしましょう
1 避難情報を確認しましょう
2 避難時の持ち出し品を確認しましょう（詳しくは「避難時の持ち出し品」をご確認ください）
3 近所への声掛けができるよう、日ごろから近所付き合いを密にしましょう

自宅での避難が可能な4つの条件

1 ご自宅に 家屋倒壊等氾濫想定区域*が塗られていない方
※ 想定最大規模降雨版（地図面）をご確認ください

2 2階以上のご自宅にお住まいで、かつ浸水深が 10m以上 5～10m未満 3～5m未満 で塗られていない方

3 ご自宅に 土砂災害特別警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべり が塗られていない方
※ 三国地区と丸岡地区にお住まいの方は地図面をご確認ください

4 水が引くまで自宅での避難が可能な方（水や食料などの備えが十分な方）⇒ 浸水継続時間図*をご覧ください
※ 浸水継続時間図は、想定最大規模降雨版（情報・学習室）をご確認ください

避難情報や持ち出し品などをチェックしましょう

1 避難情報を確認しましょう

2 避難時の持ち出し品を確認しましょう（詳しくは「避難時の持ち出し品」をご確認ください）

3 近所への声掛けができるよう、日ごろから近所付き合いを密にしましょう

マップを見る上での注意点

1. 早期の立退き避難が必要な区域
激しい水の流れて家屋が押し流されたり、2階を超えて浸水する可能性がある区域など、自宅に留まることで、かえって危険になる区域があります。これらの区域を「早期の立退き避難が必要な区域」として示しています。区域内にお住まいの方は、早めに安全な場所へ避難してください。

1 家屋倒壊等氾濫想定区域
氾濫流 堤防の決壊などによる強い水の流れにより、木造家屋が倒壊
河岸浸食 強い水の流れて河岸が削り取られ、家屋が地盤ごと倒壊

2 浸水想定が3mを超える区域
浸水想定区域のうち、2階（3m）以上の浸水が想定されている区域です。このような区域では2階へ避難しても危険です。

浸水深が3mを超える区域
10m以上 5～10m未満 3～5m未満
地図面にはこれらの凡例で示されています。

3 土砂災害のおそれがある区域
土砂災害が発生した場合に建物が壊れたり、住民に危害が生じるおそれがある区域です。大雨等で立退き避難が危険な場合は、自宅の2階以上で、なるべく斜面から離れた部屋へ避難してください。

土砂災害のおそれがある区域
土砂災害特別警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべり
三国地区と丸岡地区の地図面には、これらの凡例で示されています。

2. 過去の浸水範囲

坂井市では、これまでに中小規模の浸水被害が確認されています。過去に浸水した箇所は、土地が低いなどの特徴がある箇所です。地図面に示されている過去の浸水範囲をもとに、避難経路について考えてみましょう。

過去の浸水範囲
地図面にはこの凡例で示されています。

3. こんな隠れた危険にもご用心！

バックウォーター現象に注意！
バックウォーター現象とは、増水した本流の流れにせき止められることで、支流の水位が急激に上がる現象のことです。
令和2年7月豪雨では、熊本県の球磨川が氾濫し、その支流との合流付近でこの現象が発生し、大きな被害が出ています。

水位が上がり 氾濫
イメージ図

要配慮者利用施設位置図（坂井地区）

要配慮者利用施設…主に高齢者、障がい者、乳幼児その他の特に防災上の配慮を要する方が利用する施設のこと

災害時の要配慮者への支援

高齢者・妊婦の方
・懐かきりの高齢者の場合は、担架や毛布等を使って、複数で協力して避難しましょう
・お腹で足元が見えず、また身体が思うように動きません。必ず誰かに先導のもと避難しましょう
目の不自由な方
・杖を持った方の手はとらず、ひじの辺りにゆっくりとふれて歩きましょう
・方向や目の位置などは、時計の文字盤の位置を想定して伝えましょう

耳の不自由な方
・筆談は要点をわかりやすくしましょう
・話をするときには、顔をまっすぐ向け、口を大きく動かしゆっくりと話しましょう
児童・外国人の方
・孤立しないよう、身振、手振りで話しかけ、不安を取り除きましょう
・低学年の場合、手を引いてあげる等、誘導をあげましょう

坂井地区の要配慮者利用施設一覧

No.	名称	電話番号
1	坂井中学校	66-0396
2	第十小中学校	66-0144
3	大間小学校	72-0003
4	兵庫小学校	72-0009
5	木部小学校	72-0184
6	横立坂井高等学校	66-0268
7	坂井老人福祉センター遊楽館	67-0640
8	児童館	72-2630
9	坂井ケアセンター	72-7373
10	さいかいデイサービスセンター	72-3411
11	シユートスタイル やすらぎさいかい	72-3423
12	グループホームさいかい	72-3422
13	デイサービスリハビリセンター木の花	50-1000
14	デイサービスセンターさいかい連帯	67-7717
15	障がい者グループホーム坂井さくら	72-3701
16	障がい者グループホーム坂井さくら	72-3801
17	障がい者グループホーム坂井さくら	72-3902
18	障がい者グループホーム坂井さくら	72-3903
19	デイサービス リハビリ施設（坂井支所）	72-3906
20	ホームロース ホームリハビリセンター坂井	50-2551
21	短期入所生活介護 滝野	72-0100
22	短期入所生活介護 滝野	72-0100
23	短期入所生活介護 滝野	72-0100
24	小規模多機能介護施設 しんじょういし	60-2110
25	看護小規模多機能型 結の家 シンシア	63-5233
26	生活介護事業所ハーモニークサミ	66-8010
27	多機能型支援センターまいる	72-7777
28	スマイルネットワークさいかい スマイル園	72-1586
29	スマイルネットワークさいかい 坂井一時支援事業所	72-2282
30	放課後デイサービス事業所まいる	72-1957
31	大間児童館	72-3368
32	坂井木部児童館	000-8991-6026
33	大間児童館	66-1761
34	兵庫児童館	66-8655
35	木部児童館	72-1503
36	るんぴに保育園	72-0229
37	認定こども園 大間保育園	72-1870
38	すずらん保育園	72-1244
39	坂井松浦こども園	50-2181
40	坂井松浦学習クラブ	66-5999
41	坂井松浦こども園 こあらの部屋	000-8991-6026
42	坂井松浦こども園 こあらの部屋	000-1962-3346
43	第十小第二児童クラブ	000-8991-6026
44	大間児童クラブ	000-8991-6027
45	兵庫児童クラブ	66-4188
46	坂井子育て支援センター	66-4188